

概 況

1. 事業所数	90事業所
2. 従業者数	2,551人
3. 製造品出荷額等	453億9,226万円
4. 現金給与総額	88億946万円
5. 原材料使用額等	274億8,161万円
6. 付加価値額（従業者29人以下事業所は粗付加価値額）	149億3,565万円

1 事業所数

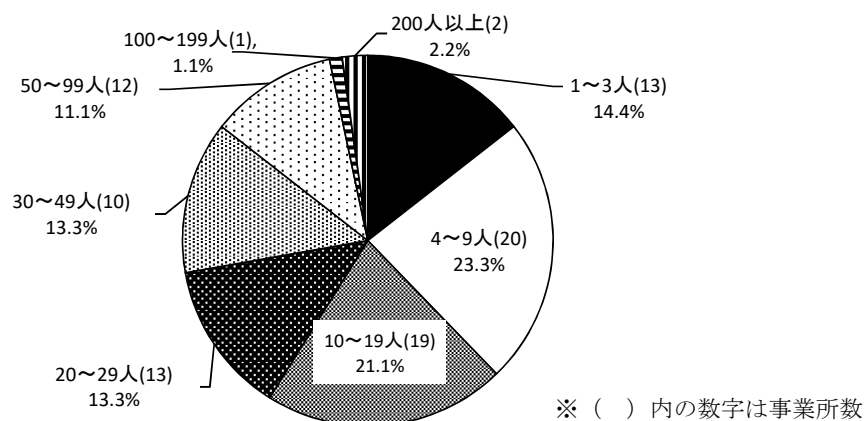
令和5年の事業所数は90事業所となっている。

(1) 従業者規模別

構成比をみると、4～9人規模事業所が最も多く、全体の23.3%（20事業所）を占めている。次いで10～19人規模事業所が21.1%（19事業所）などとなっており、29人以下の事業所で72.2%（65事業所）を占めている。

【付表1-1】

図1-1 従業者規模別事業所数の構成比



(2) 産業中分類別

対前年増減数をみると、増加したのは、生産用機械（1事業所増）であった。

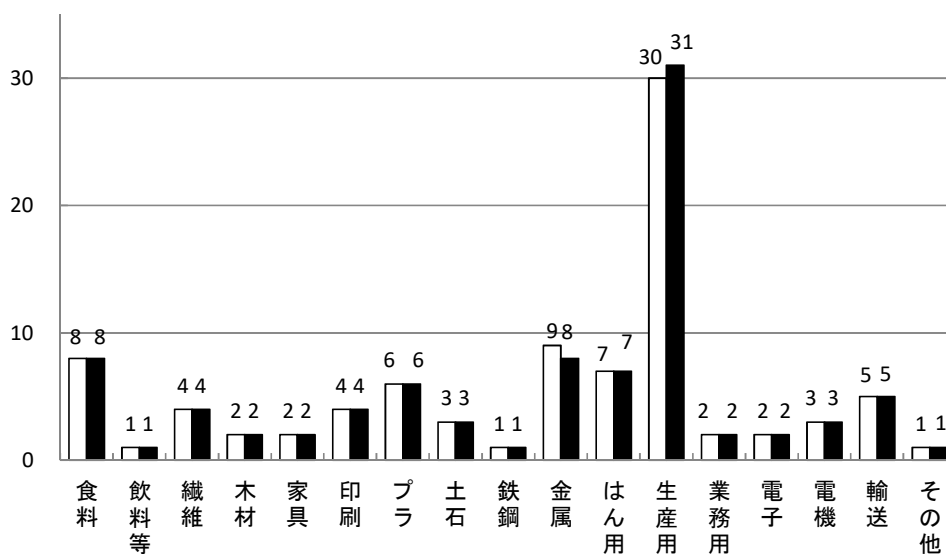
減少したのは、金属製品（1事業所減）であった。

構成比をみると、生産用機械が最も多く、全体の34.4%（31事業所）を占めている。次いで金属製品が8.9%（8事業所）などとなっている。

図1-3 産業中分類別事業所数

事業所

□R4(2022)年 ■R5(2023)年



2 従業者数

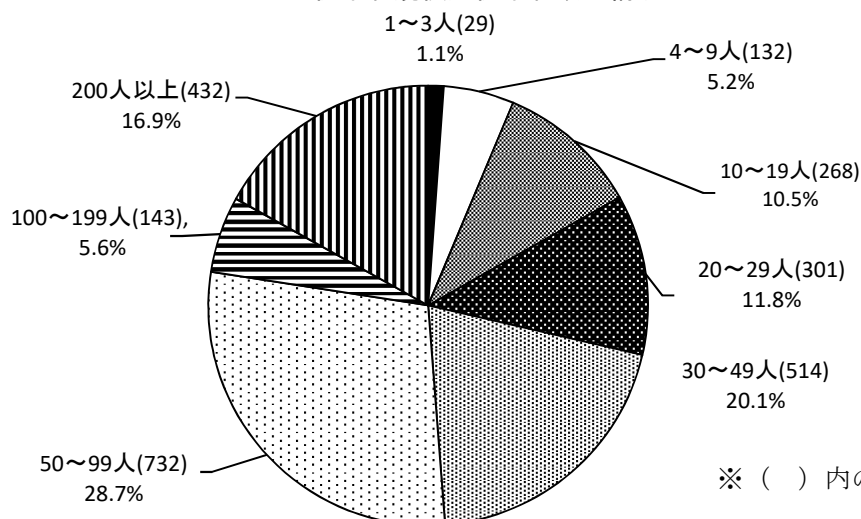
令和5年の従業者数は2,551人となっている。

(1) 従業者規模別

構成比をみると、50～99人規模事業所が最も多く、全体の32.9%（843人）を占めている。

【付表1-1】

図2-1 従業者規模別従業者数の構成比

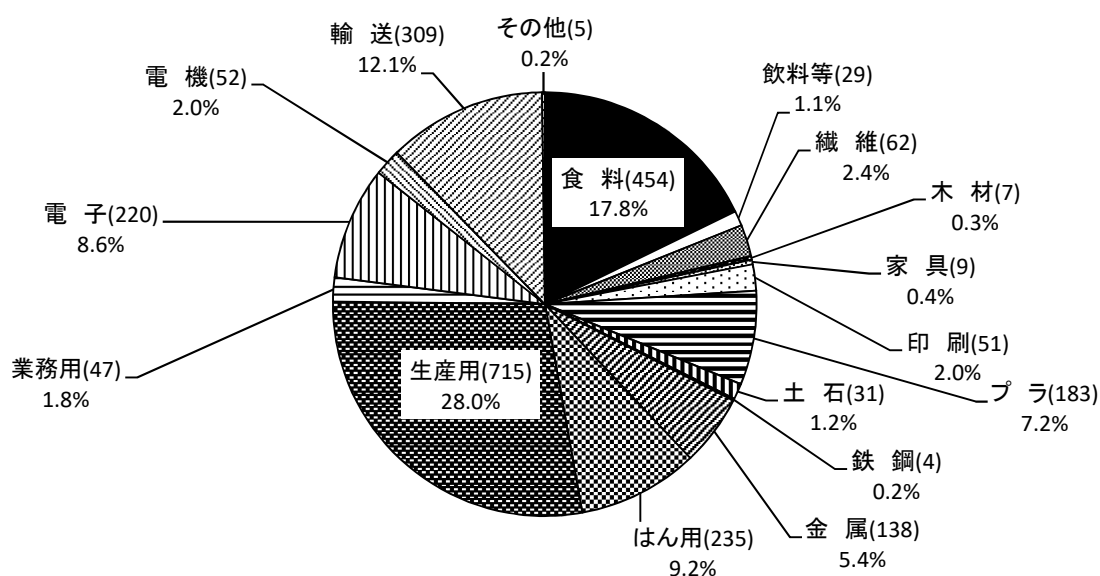


(2) 産業中分類別

構成比をみると、生産用機械が最も多く、全体の28.0%（715人）を占めている。次いで食料品が17.8%（454人）などとなっている。

【付表1-2】

図2-2 産業中分類別従業者数の構成比



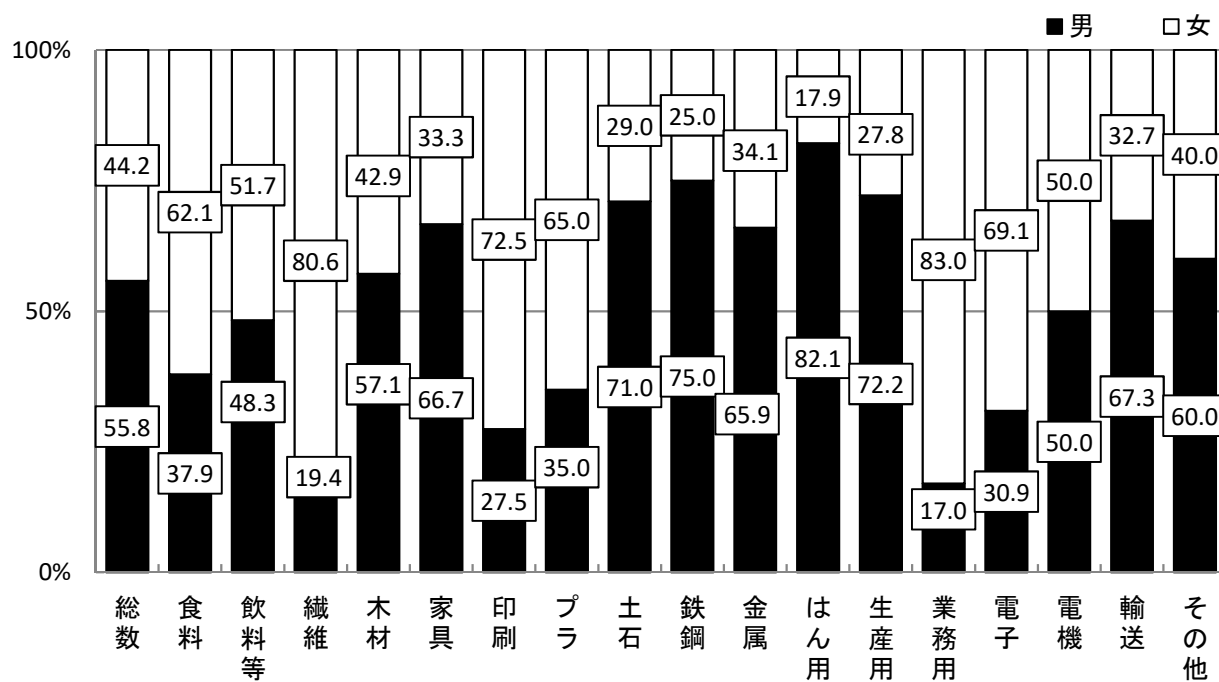
(3) 男女別

男女構成比は、男が 55.8%、女が 44.2%で、男の割合が上回った。

産業中分類別に男女構成比をみると、男の割合が高いのは、はん用機械（82.1%）、鉄鋼（75.0%）などで、女の割合が高いのは、業務用機械（83.0%）、繊維工業（80.6%）などであった。

【付表1-3】

図 2 - 3 産業中分類別男女別従業者数の構成比



3 製造品出荷額等

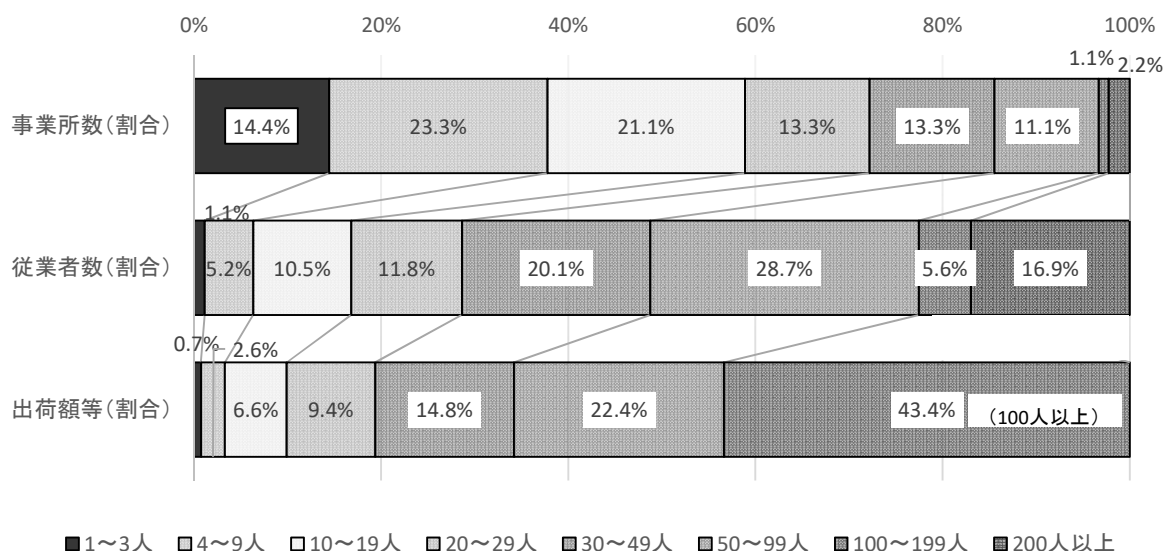
令和4年の製造品出荷額等は453億9,226万円となっている。

(1) 従業者規模別

構成比をみると、50～99人規模事業所が最も多く、全体の22.4%（101億8,815万円）を占めている。（秘匿数値を除く）

【付表2-1】

図3-1 従業者規模別 事業所数・従業者数・製造品出荷額等の構成比

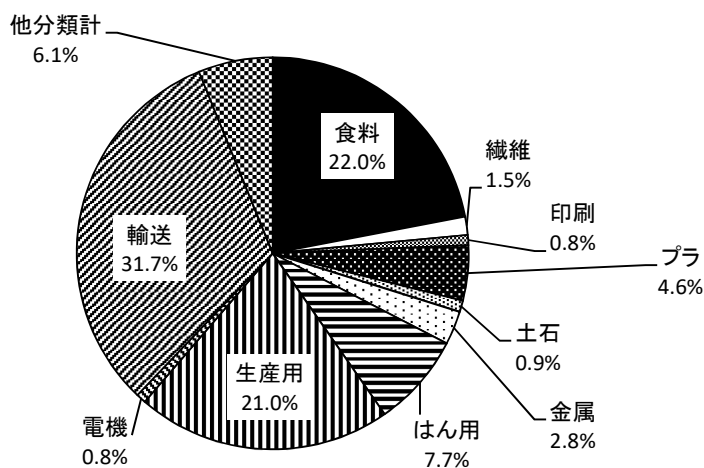


(2) 産業中分類別

構成比をみると、輸送用機械が最も多く、全体の31.7%（144億895万円）を占めている。次いで生産用機械が21.0%（95億3,458万円）などとなっている。（秘匿数値を除く）

【付表2-2】

図3-2 産業中分類別製造品出荷額等の構成比



4 現金給与総額

令和4年の現金給与総額は 88億946万円となっている。

(1) 従業者規模別

構成比をみると、50～99人規模事業所が最も多く、28.2%（24億8,245万円）を占めている。次いで 30～49人規模事業所が 17.1%（15億279万円）などとなっている。（秘匿数値を除く）

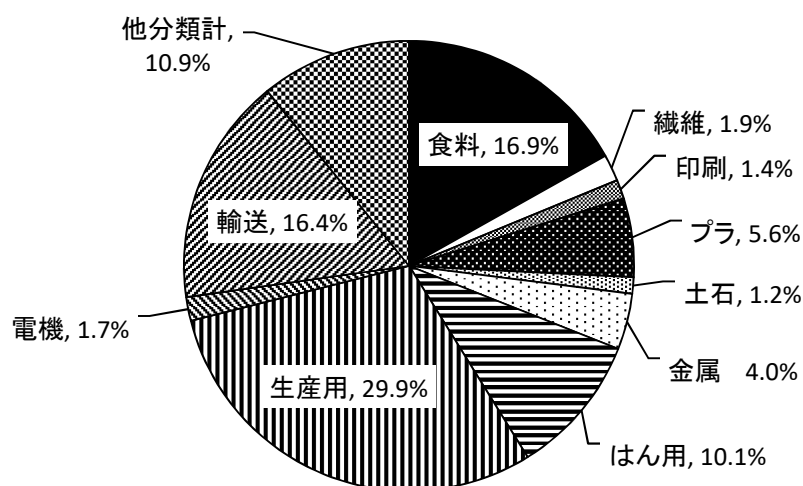
【付表2-1】

(2) 産業中分類別

構成比をみると、最も多いのは生産用機械で29.9%（26億3,459万円）、次いで食料品が 16.9%（14億8,578万円）などとなっている。（秘匿数値を除く）

【付表2-2】

図4-1 産業中分類別現金給与総額の構成比



5 原材料使用額等

令和4年の原材料使用額等は 274億8,161万円となっている。

(1) 従業者規模別

構成比をみると、50～99人規模事業所が最も多く、全体の 19.8%（54億3,690万円）を占めている。次いで 30～49人規模事業所が12.3%（33億8,405万円）などとなっている。（秘匿数値を除く）

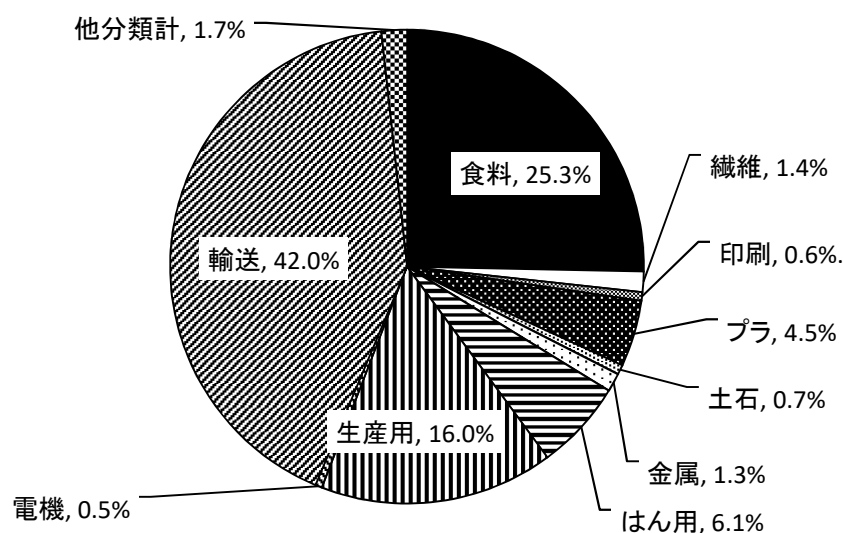
【付表3-1】

(2) 産業中分類別

構成比をみると、最も多いのは輸送用機械で 42.0%（115億2,939万円）となっている。次いで食料品が 25.3%（69億5,838万円）などとなっている。（秘匿数値を除く）

【付表3-2】

図5-1 産業中分類別原材料使用額等の構成比



6 付加価値額（従業者29人以下事業所は粗付加価値額）

令和4年の付加価値額は149億3,565万円となっている。

（1）従業者規模別

構成比をみると、50～99人規模事業所が最も多く、全体の26.0%（38億7,801万円）を占めている。次いで30～49人規模事業所が20.1%（29億9,504万円）などとなっている。（秘匿数値を除く）

【付表3-1】

（2）産業中分類別

構成比をみると、最も多いの生産用機械で29.7%（44億3,634万円）となっている。次いで食料品が16.6%（24億7,354万円）などとなっている。（秘匿数値を除く）

【付表3-2】

図6-1 産業中分類別付加価値額の構成比

